

《講習開催経費について》

赤十字事業の財源は、県民の皆さま及び県内の企業や団体等からいただいている「寄付金（社資）」によってまかなわれています。講習普及事業においても、その財源から講習資材の整備、指導員の育成を行っています。しかしながら、社資のみではより一層の普及は厳しいのが現状です。そこで、指導員派遣の依頼をいただいた団体様には、受講者が使用される教材の実費及びには講習経費の負担をお願いしております。

教材費等（一人あたり）

救急法基礎講習	1,500 円	教本、人工呼吸用マスク 2 個、 保険料 他
救急法救急員養成講習	1,700 円	教本、教材セット、保険料他
水上安全法救助員 I 養成講習	700 円	教本、保険料
幼児安全法支援員養成講習	1,800 円	教本 2 種類、人工呼吸用マスク 1 個 保険料 他
健康生活支援講習	900 円	教本、保険料 他
心肺蘇生の実技を含む短期講習	154 円	人工呼吸用マスク 1 個 154 円×使用数

講習費用

救急法基礎講習	5,000 円×派遣指導員数×派遣日数
各養成講習	5,000 円×派遣指導員数×派遣日数
短期講習（4 時間未満）	3,000 円×派遣指導員数×派遣日数
短期講習（4 時間以上）	5,000 円×派遣指導員数×派遣日数

《経費の振込みについて》

経費は講習終了後に下記口座にお振込みください。振込受領書をもって領収書にかえさせていただきます。なお、請求書、領収書が必要な場合には講習担当者にご相談ください。

武蔵野銀行県庁前支店 普通預金 No.049625 日本赤十字社埼玉県支部 支部長 上田 清司
--

※赤十字事業へご協力いただいている地区・分区、赤十字奉仕団、青少年赤十字(JRC) 加盟校等については、教材費のみをご負担いただきます。

例えば、「職場や地域等で2時間程度の心肺蘇生の講習会を開きたい」というときには。

依頼元	支部担当者
<p>【開催予定日2ヶ月前】</p> <p>①日赤埼玉県支部講習係あてに、開催可能か電話で問い合わせてください。可能であれば、(様式F1)をFAXにてお送りください。 (FAX番号048-834-1520)</p> <p>③支部担当者から連絡がありましたら、 (様式3)を郵送にてお送りください。</p> <p>⑤派遣する指導員から連絡が入りますので、講習内容、使用する資器材について打ち合わせをしてください。その後、資器材・教材の必要数等を記入し(様式5)をFAXにてお送りください。</p> <p>【開催前日】</p> <p>⑦資材の受け取り</p> <p>【開催当日または翌日】</p> <p>⑧資材の返却</p> <p>⑩有料の教材の費用、及び講習経費負担金の振込みをお願いします。その後、(様式6)の送金書を、請求書・領収書が必要な場合には (様式7)をFAXにてお送りください。</p>	<p>②(様式F1)を元に指導員の手配を行います。指導員の手配が付き次第電話にてご連絡いたします。</p> <p>④派遣する指導員の氏名等を入れた回答文書を郵送でお送りいたします。</p> <p>⑥資材の準備</p> <p>⑨資材受け取り</p>

※講習が混み合う時期には、ご希望の日時に指導員を派遣ができないことがあります。その場合には日程の変更をお願いすることがあります。

※講習に必要な資器材は、原則としてご依頼いただいた団体に、日本赤十字社埼玉県支部まで資材受け取り・返却をお願いしています。

(平日9時～17時30分 土・日・祝祭日は閉庁しております。)

日本赤十字社埼玉県支部：〒330-0064 埼玉県さいたま市浦和区岸町3-17-1

TEL 048-789-7117 FAX 048-834-1520

(様式1) 救急法基礎講習用

第 号
平成 年 月 日

日本赤十字社埼玉県支部長 様

(団体名及び代表者名)

印

赤十字救急法基礎講習会開催にかかる指導員派遣について (依頼)

標記の件について、下記のとおり講習会を開催いたしますので、指導員の派遣をお願いします。

記

- 1 講習の種類 救急法基礎講習
- 2 期 日 平成 年 月 日 ()
- 3 時 間 : ~ :
- 4 会 場
- 5 対 象
- 6 人 数
- 7 担当者 氏名
TEL FAX
連絡可能な時間帯 : ~ :
- 8 その他 会場までの地図を添付します。

(様式2) 養成講習用

第 号
平成 年 月 日

日本赤十字社埼玉県支部長 様

(団体名及び代表者名)

印

赤十字養成講習会開催にかかる指導員派遣について (依頼)

標記の件について、下記のとおり講習会を開催いたしますので、指導員の派遣をお願いします。

記

1 講習の種類 救急法 水上安全法 幼児安全法 健康生活支援講習

2 期 日 平成 年 月 日 () ・ 月 日 ()
月 日 () ・ 月 日 ()

3 時 間 : ~ :

4 会 場

5 対 象

6 人 数

7 担当者 氏名
TEL FAX
連絡可能な時間帯 : ~ :

8 その他 会場までの地図を添付します。

(様式3) 短期講習用

第 号
平成 年 月 日

日本赤十字社埼玉県支部長 様

(団体名及び代表者名)

印

赤十字短期講習会開催にかかる指導員派遣について (依頼)

標記の件について、下記のとおり講習会を開催いたしますので、指導員の派遣をお願いします。

記

- 1 講習の種類 救急法 水上安全法 幼児安全法 健康生活支援講習
- 2 期 日 平成 年 月 日 ()
- 3 時 間 : ~ :
- 4 会 場
- 5 対象と人数
- 6 内 容
- 7 担当者 氏名
 TEL FAX
 連絡可能な時間帯 : ~ :
- 8 その他 会場までの地図を添付します。

日本赤十字社埼玉県支部

救護・講習課 講習係 あて (FAX 048-834-1520)

講習資器材詳細連絡

講習主催者

講習開催日 月 日 ()

1 講習資材について

*使用する資器材については、直接講習指導員とご相談ください。指導員からご担当者様へ連絡いたします。指導員から連絡がない場合には、埼玉県支部あてその旨お伝えください。

- (1) 訓練人形 成人 (体) 種類: 全身 半身
幼児 (体) 種類: 全身 半身
乳児 (体)

(2) A E D (台) 種類: フィリップス 日本光電 メドトロニック

(3) 呼気吹き込み用具 (個)

(4) ござ (枚)

(5) 教本 (冊)

・救急法基礎教本・救急員養成教本・水上安全法・幼児安全法・健康生活支援講習

(6) 小冊子 (冊)

・救急法の基礎知識・知っていれば安心です (A E D小冊子)・水上安全法小冊子

・幼児こどもの看病、手当のしかた・幼児が の手当教本北° - ・災害が起こったときに

(7) 毛布 (枚)

(8) 三角巾 (枚)

(9) 副子 (セット)

(10) その他 ()

2 資材受取日時 月 日 () 午前・午後 :

3 資材返却日時 月 日 () 午前・午後 :

講習開催日の、直近の前後の日程で調整していただきますようお願いいたします。

土・日・祝祭日を除く9時~17時30分

(様式6) 送金書 (FAX可)

送 金 書

平成 年 月 日

日本赤十字社埼玉県支部

救護・講習課 講習係 (FAX 048-834-1520) あて

金 _____ 円也

内訳 講習経費負担金 (講師派遣料)

{ 4時間未満 3,000円 × ____ 名 = _____ 円
4時間以上 5,000円 × ____ 名 = _____ 円

教材費

{ 人工呼吸用マスク 154円 × ____ 個 = _____ 円
その他(_____) _____ 円 × ____ 個 = _____ 円

1 講習実施日 _____ 年 月 日 ()

2 講習種類 救急法 ・ 水上安全法 ・ 幼児安全法 ・ 健康生活支援講習

3 送金 (振込予定日) _____ 年 月 日 ()

上記の金額を振り込みましたことを連絡します。

講習開催団体名 _____

※振込みのお名前が上記と異なる場合にご記入下さい

(振込名 _____)

(様式7) 請求書・領収書 (FAX 可)

(請求書 ・ 領収書) 発行用紙

※上記に○をつけてください

宛名 _____

※送付先が上記と異なる場合にご記入下さい

(送付先 _____)

講習名： 救急法 水上安全法 幼児安全法 健康生活支援講習
(当てはまる講習名に○をつけてください)

講習日時 平成 年 月 日 ()

講習会場 _____

請求日 平成 年 月 日 () [日付指定のある場合]

※領収日は送金日若しくは支払日になります

講習金額 _____ 円

内訳 _____ 円

- 但し () 講師派遣費用
() 教材費
() 講習経費 (教材費と派遣費用を分けなくてよい場合)
当てはまる但し書きに○をお願いいたします。
※内容別に請求書が必要な場合はその旨ご連絡ください。

担当者連絡先：氏名 _____

TEL _____